



絆の草中 16

草野中学校だより

発行責任者 校長 丹野 英雄

第16号 令和3年7月9日発行

6月上旬から中旬にかけて市中体連陸上大会ならびに総合大会が行われ、陸上男子共通110mハードル走で残間海斗君、卓球男子シングルスで北館走祐君、女子ダブルスで関根汐里さん・高橋陽菜さんのペアが、そして、剣道男子団体が優勝を果たすと共に、男子個人でも戸田皇聖君と渡邊遙人君が団体と併せて県大会出場を果たしました。

去る7月7日に県中体連陸上大会は終了しましたが、剣道は7月15～16日に、卓球は7月17～18日に地元いわき市で県大会が開催されます。今年度は、無観客での開催になりますが、昨年度は開催すらできなかったことを振り返ると、大会自体が開催されることに感謝すべきだと思います。

無観客のため会場での直接応援はできませんが、全校を挙げて気持ちを送るようにします。選手の方々には、全校生徒の気持ちを受け止めて競技に臨んでほしいと思います。県大会では草野中学校の代表としては勿論のこと、いわき市の代表として更なる高みを目指してくれることを期待しています。

また、県大会への出場はかなわなかったものの力の限りを尽くして競技した選手諸君の頑張りから拍手を送ります。さらに、子供たちを様々な面から支えていただいた保護者の皆さんにも感謝申し上げます。ありがとうございました。多感な中学生の時期に、同じ部に集い、多くの時間を共にして得ることができた様々な経験は、生涯の宝となるものと思います。

誇らしく優勝旗を掲げる剣士たち～校長室にて～



強豪相手にも力を出し切ったパレー部の選手たち



～相手のサーブを待ち受ける～卓球男子シングルス



白熱したラリーを繰り広げる卓球女子ダブルス



一緒にプレーできた友よ、ありがとう！

「見守られる側」から「見守る側」へ

子供たちのまわりには、犯罪や交通事故、自然災害など、さまざまな危険が潜んでいます。そのような危険から子供たちの安全・安心を確保する上で、交通指導員の方をはじめ、保護者や地域の皆さんによる日頃からの見守りは大変に心強く、感謝しております。

さて、危険から子供を守るためには、大人が安全・安心な環境を整えることに加え、もうひとつ大切な視点があります。それは「安全教育」です。「安全教育」とは、危険を察知し、回避する力を身に付けるために行う教育です。欧米では、「子供が池に落ちないように柵で囲おう」という発想ではなく、「池に落ちた時でも溺れないように泳ぎを教えよう」という発想をするそうです。生活している以上、危険はつきもの。いざ、危険に遭遇した時の対処法を体得しておくことのほうが大事だという教えですね。

親や先生といっても子供一人一人を24時間見守り続けることは不可能です。大人の目が届かない時間帯や場所など、死角や盲点が生まれてしまうからです。そのような場合でも、子供が自分に起こりうる危険を予測し、自らの身を守る術を知っていれば、かなりのリスクを回避できるでしょう。親が子供の安全・安心を思ってGPS機能付きのスマートフォンを

持たせて居場所を確認しようとしても、子供自身がSNSを介して不審な人物と知り合ってしまったとしたら、何が安全・安心かわかりません。ですから、安全・安心な環境を整えることと併せ、子供たち自身に危険を察知し、回避する力を身に付けさせる必要があるのです。

信号機がある交差点で横断待ちしている時でも、道路間際よりも奥まった場所にいるほうが事故に遭うリスクは格段に減ります。少しでも早く横断したい気持ちはあるでしょうが、「ハンドル操作を間違った車が突っ込んできたら危ないな」と予測する力も持たせたいと思います。中学生は、その判断力や行動力を体得する上での適切な年代ともいえます。

小学生の頃は、大人の人に「見守られる側」であったでしょう。しかし、これからは小さな子供を「見守る側」へと成長が期待されます。安全・安心な暮らしを守るためには、地域ぐるみで、そのような安全教育のサイクルを構築していく必要があると感じています。中学生が、今まで教え導いてもらった知識や行動の仕方を今度は伝える側になるのです。中学校では、自分自身はもちろんのこと周囲の人の安全にも配慮した行動がとれる生徒の育成をこれからも目指していきます。

本校では、6月に全校生徒で水害に備えた避難訓練を実施しています。1階に浸水した想定で3階への垂直避難をしました。草野中学校区は、夏井川をはじめ大小様々な河川や用水路があります。米や野菜などの農作物を作る上では水は欠かすことができません。そのため、草野地区の先人たちは、豊かな恵みをもたらしてくれる水を求めて水路を築いてきた歴史があります。一方で、豪雨や長雨による洪水の発生が心配される地域でもあります。このように自然は、私たちに恵みを与えてくれる一方で、災害をもたらすという二面性を持っています。

草野中学校のある場所は、洪水が発生した場合に1m～2mの高さまで水が押し寄せてくると予想されており、1階の昇降口を十分に超える高さに達すると思われます。もし、1階に水が流れ込んできたとしたら、外に避難することは、かなり困難になります。水圧によって体の自由が効かなくなるからです。このような場合は、より高い場所へ垂直避難するしかありません。

防災の専門家は、避難が遅れてしまう最大の要因として、いつも大丈夫だったのだから今回も大丈夫だろうという人間の心理が働くことを挙げています。こうした心理を「正常性バイアス」と言います。経験が豊富な大人の人ほど、その傾向が強いと指摘されています。どこにいても、誰にいても、「正常性バイアス」に惑わされることなく、適切な判断に基づいて避難行動を起こせるようにしてほしいと思います。

【教育目標】

自ら学び、考え、正しく判断できる生徒
絆を大切にし、思いやりを持って行動できる生徒
進んで運動し、心身ともに健康な生徒



〒970-0101

福島県いわき市平下神谷字宿25番地

TEL 0246-34-2208 FAX 0246-34-2771

E-mail : kusano-jh@city.iwaki.lg.jp